

水害時の衛生対策と消毒方法

1 家屋等が浸水した場合

豪雨等により家屋などが浸水した場合は、洗浄や拭き取りにより十分に汚れを除去して、乾かした後、消毒するようにしてください。

(消毒は、汚れのない状態でないと、効果を発揮することができません。)

2 衛生対策について

家屋などが浸水した場合、次のとおり洗浄及び衛生対策を行ってください。

床上の場合	<p>●室内は、食事や睡眠など生活を行う場所のため、泥や汚れを十分に取り除いた後、消毒を行いましょう。</p> <ol style="list-style-type: none">① 水が引いた後、濡れた畳や家の中の不要な物を片付けてください。② 汚れた家具や床・壁などは、水で洗い流すか、雑巾で水拭きするなどしてください。③ 食器類や調理器具などは、水洗いして汚れをきれいに洗い流してください。④ 食器棚や冷蔵庫などは、汚れをきれいに拭き取ってください。
家の周囲や床下の場合	<p>●土砂等を取り除いた後、水道水で洗い流し、しっかり乾かすことが重要です。床下に流れ込んだ土砂や水分が残っている場合、その湿気により、家の基礎や土台（床組）などに影響がでる場合があります。</p> <ol style="list-style-type: none">① 汚泥や不要なものなどを片付けてください。② 庭木や外壁についた泥は、水で十分に洗い流してください。③ 床下換気口のごみを取り除き、床下の風通しを良くしてください。④ 床下はスコップや流水を用いて汚泥を取り除いた後、雑巾や新聞紙等で水気をなくし、扇風機などにより強制的に換気し、乾燥させてください。
食中毒・感染症予防のため	<ol style="list-style-type: none">① 受水槽は、安全と衛生を点検・確認してから使用してください。② 水に浸かった食品や、停電により保存温度が保てなかった要冷蔵・冷凍食品はできるだけ廃棄してください。③ 自家栽培した野菜の生食は避けましょう。④ からだに異常を感じたら早めに医療機関に受診してください。⑤ 食事の前の用便、清掃の後などは、しっかりと手を洗ってください。⑥ 井戸水は、水質検査で安全を確認後に使用してください。

3 消毒方法について

消毒液は、過剰に使用すると人の健康や環境へ影響を与えることがあります。使用は、必要最小限としましょう。使用の際には、取扱説明書に従い、換気を十分に行って、事故が起こらないよう注意してください。特に小さなお子さんのいる家庭では、手の届かない所に保管しましょう。

(注意事項)

- ⚠ 1 長袖、長ズボンを着用し、マスク、ゴム手袋、（あれば眼の保護のため眼鏡やゴーグル）、 などを使用し、皮膚や目にかからないように注意してください。
- ⚠ 2 皮膚についた場合は、水と石けんでよく洗い流してください。目に入った場合は、水で15分以上洗い流し、医師の診察を受けてください。
- ⚠ 3 市販のものは、色々な濃度のものがあるため、希釈倍率には注意してください。
- ⚠ 4 使用する直前に希釈してください。
- ⚠ 5 他の消毒液や洗剤と混ぜないてください。
- ⚠ 6 消毒液をペットボトルへ移し替えないてください。誤って飲んでしまう事故につながりますので、必ず使い切ってください。消毒液の入っていたバケツやじょうろなどは使用後、十分に水で流してください。
- ⚠ 7 浄化槽には、消毒液を流さないてください。（※浄化微生物に影響を及ぼします）

(参考：消毒方法の例)

消毒対象	消毒薬	調整方法 (例)	使用方法
屋内 (汚水に浸った壁面や床、家財道具)	0.1%塩化ベンザルコニウム (逆性石けん)	10%塩化ベンザルコニウム 10m l に水を加えて 1 L とする。	①泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ②調整した液を浸した布などでよく拭く。 <u>※消毒は汚れが残っていたり、濡れている状態で行うと十分な効果を発揮することができません。</u>
手指 (後片付けなどで、汚染された箇所や土に触れた手指)			①汚れを石けんで洗った後、流水で石けんをよく落とす。 <u>※石けんが残っていると殺菌力が低下します。</u> ②洗面器などに入れた調整後の消毒液に手首まで浸し、30 秒以上もみ洗する。 ③その後、乾いたタオルなどでよく拭きとる。
食器類	0.02%次亜塩素酸ナトリウム (家庭用塩素系漂白剤でも可)	10%次亜塩素酸ナトリウム 2m l に水を加えて 1 L とする。	①食器等を水洗いする。 ②調整した消毒液に 5 分以上浸し、自然乾燥させる。 <u>※家庭用塩素系漂白剤を使用した場合は、水ですすぐ。</u>